

成功するほど、人は謙虚に、 寛大に、そして親切になるもの

——文中野香織

つらさや悲しみを耐えなければいけないとき、私は「人生はベルシヤ絨毯」というサマセット・モームの哲学を心の支えにする。そのココロは、明るい色ばかりじゃ絨毯は味気ない。暗い色彩、悲しげな模様もあつてこそ、深い味わいのある豊かな絨毯が織り上がる、というもの。鋭い人間観察力によってたくさんの味わい深い「ベルシヤ絨毯」を描き分けてきたそのモームが、「成功」についてこんなことを言っている。「成功すると、人は虚栄と利己主義と自己満足に走るからダメになる、という世間一般の見方は間違っている。それどころか、成功すると、人は謙虚に、寛大に、そして親切になるものだ」



Angelina Jolie

アンジェリーナ・ジョリー

26歳のとき、カンボジアから養子を迎えたことが、彼女の人道支援家としての人生の始まり。主演作品は、億単位の興行収入を獲得するトップスターとして輝かしい成功を収めながら、UNHCR親善大使を務めています

惜しみなく与えることで
結果として、別格の存在に

カンボジア、エチオピア、ベトナムから養子を引き取るばかりではなく、けたはずれの多額の寄付を行いながら、世界各地で積極的な慈善活動を続けていることで知られるジョリーだが、はじめて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の親善大使を務めたのは、2001年である。この年の彼女のキャリアはどうだったのかといえば、「トゥームレイダー」に主演し、ゴールデングラスベリー賞（最低主演女優賞）にノミネートされている。ジョリーはセレブリティにはなったが、スキャンダラスな私生活の報道ともあいまって、ホンモノの「成功者」といっていいのかどうか、微妙な位置づけだった。それが同年に慈善活動を本格的に開始してから、めきめきと品格や威厳、慈愛に満ちた美しさを備えていき、別格の大女優へと変貌を遂げていった



Globe Photos/Alto

Audrey Hepburn

オードリー・ヘプバーン

19歳でスクリーンデビューし、41年間の女優人生で約30本の作品に出演。女優引退後、60歳でユニセフ親善大使に就任。第二次世界大戦中、困難な生活を余儀なくされた幼少期の経験が、支援への原動力でした

のである。

つまりジョリーは、「成功したから慈善活動を開始した」というよりもむしろ、「慈善活動によってホンモノの成功と品格を獲得した」人なのである。与え、与え、与え続けていることで、逆にジョリーにその何倍もの恵みが別の形になって返ってきているのだ。成功したから寛大で親切になつたのではない。寛大で親切になつたからこそ大成したのである。

「ナシヨリーの変貌を目にするまでは、

え、別格の大女優へと変貌を遂げていった

持てるものを与えることによって、別格の存在

真の幸福への鍵はここにある!

“品格”こそサクセスの条件

本特集で、2012年の開運キーワードの一つとしてかかげた“品格”。実際、品格のある強運の持ち主とはどんな人物なのでしょう? 最後に、中野香織さんが、強運な5人の生き方を通して、真の“品格”とは何か、ひもときます。

最後に、開運
キーワード“品格”に
フォーカス!



Giorgio Armani

ジョルジオ・アルマーニ

数々のファッションラインをはじめ、インテリア、ホテルなどの事業を展開し成功。和の意匠がちりばめられた2011/12年AWプリヴェのショーは、東日本大震災を受けた日本に捧げられました

として敬われ、愛され、結果として大きな成功を築き上げた先駆者には、たとえば、オードリー・ヘプバーンがいる。女優業を

引退した後、国際連合児童基金(ユニセフ)のユニセフ親善大使に就任し、当時内戦が続いていたソマリアやスーダンを訪問。過酷な土地でも笑顔と絶やさぬ慈善活動によって、彼女は女優としての功績に、さらに一回り大きな輝きを加えた。黒柳徹子さんもそう。1984年にユニセフ親善大使に就任して以来、最古参のメンバーとして活動を続けているが、ほかならぬその活動が彼女の芸能活動に箔と深みを与えている。

ジョルジオ・アルマーニがあれほど尊敬されるのも、経営者としての才覚とデザイナーとしての才能



Atto

Lady Gaga

レディー・ガガ

2008年に歌手デビューし、その歌唱力とパフォーマンス、インパクトのあるファッションで、世界に名を馳せました。'11年、米フォーブス誌の「世界で影響力のあるセレブリティ100人」の1位に選出。エイズ撲滅運動に取り組みながら、ハイチ地震、東日本大震災の復興支援に即座に名乗りを上げる行動力の持ち主

絆と共感が生まれると与えたエネルギーが返ってくる

ここに挙げた人々に共通するのは、タフで、強運

を兼ねる稀有な存在だから、というだけではない。「社会貢献」がかくも流行するようになるずっと前から、エイズ対策支援をはじめ、多岐にわたる慈善活動を精力的におこなってきた。日本で起きた大震災の後、日本に捧げるジョルジオ・アルマーニプリヴェ・オートクチュールコレクションをいち早く発表することで私たちを力強く励ましてくれたことも記憶に新しい。被災地の子供たちの就学をサポートする「ユネスコ協会就学支援奨学金」制度を支援するという経済面ばかりではない。コレクションというクリエイティブ方面でも美しく支援するのがアルマーニ流で、そんな流儀がますますアルマーニを尊敬に値する大物へと押し上げている。

いち早く日本を支援してくれた大物といえば、レディー・ガガもその一人。チャリティ・イン・プレスレットを販売し、'11年6月には来日して日本が安全であることを世界に向けてアピール。体を張ったその慈善活動は、彼女を単なるポップスターを超えた文化的アイコンにした。

の持ち主であること。ただ、強運によって「普通の成功」を得る人ならば、ゴマンといる。彼らが偉大なのは、それをさらなるスケールの大きな成功へと育て上げ、品格を備えた人として別格の存在になっていること。そのようなホンモノの成功の秘訣は、惜しみなく与え続けることにほかならないように見える。この世のすべてのことはつながっている。持てるものを与えることで、絆と共感が生まれ、それがつながりの連鎖の波に乗り、与えたエネルギーが何倍にもなつて返ってきているのである。

だからといって、成功のために与える、という打算はご法度であろう。インシユタインも言っているではないか。成功をめざすな、価値ある人になることをめざせ、と。でも、与えるばかりでソンをしたらどうするのかって？ それもまた、ペルシヤ絨毯の柄の一つとでも見なしましょうか。



Reuters/Atto

Tetsuko Kuroyanagi

黒柳徹子

約50年以上にわたり、テレビ、ラジオ、舞台でパワフルに活躍。ユニセフ親善大使は約30年間務め、アフガニスタンなどの内戦下で生活する人々をレポート。著書「トットちゃん」シリーズなどを通じて発表

Profile

Kaori Nakano

なかの・かおり ●服飾史家、エッセイスト。2008年より明治大学国際日本学部特任教授。著書に「愛されるモード」(中央公論新社)、「ダンディズムの系譜」(新潮選書)、「モードとエロスと資本」(集英社新書)などがある。ブログ <http://makanokaoiri.cocolog-nifty.com/>

